

## 御殿場エコサポーター活動報告書

令和3年 4月 4日

御殿場市長 様

団体名 日本野鳥の会東富士

代表者 菅 常雄

以下のとおり環境保全活動を実施したので報告します。

	登録No.	第 号
活 動 実 績	<ul style="list-style-type: none"><li>・年度前半の団体としての活動はコロナウイルス感染症拡大防止のため、自粛。</li><li>・学校での野鳥観察、自然観察活動も自粛。</li><li>・11/1 県民森づくり大会。青少年交流の家。40人の親子が参加。根上園に作られたビオトープを観察し、その後交流の家敷地内を散策しながら探鳥会。ジョウビタキなどの冬鳥も観察でき、参加者は秋の実を採りに来た野鳥を近くで見ることができて驚いていた。1時間くらいだったが、14種類確認</li><li>・11/7 YMC Aにて「小さな親切運動」協賛で植樹作業に来ているガールスカウトの子どもたちと指導者25人に、YMC Aの敷地内と隣接する東山湖の野鳥の生態観察を実施。ジョロウグモの巣を採集提示し、クモの巣が野鳥の巣作りに接着剤として役立っていること、生き物同士がつながっていることを説明した。また、近年、クモの巣の代わりにゴミとして落ちているスズランテープなどが使われ、育雛時に巣が壊れることもあることなどを説明。参加者は身近な生態系を意識し、細かいゴミについても観察中に拾ったりと、気をつけ、再認識しているようだった。</li></ul> 	
	<ul style="list-style-type: none"><li>・11/29 御殿場市民巣箱作り教室。17人の市民参加者。シジュウカラ用の巣箱を作りながら、野生生物保護思想を啓発した。昨年も参加して庭に設置した巣箱にシジュウカラが営巣して、余暇の自然活動が増えたという親子がいた。</li><li>・12/13 御殿場市民田園の冬鳥探鳥会。高根塚原の田園を散策しながら野鳥観察。オオタカやトビやチョウゲンボウなどの猛禽類が観察され、猛禽類を支える豊かな田園の自然があることを参加者と再認識した。その他、ダイサギ、アオサギ、タヒバリ、ケリ、イソヒヨドリなど20種を確認。参加者は18人。</li></ul>	

・1月2月の活動は、コロナウィルス感染症第3波の影響で自粛。

- 備考
- ・活動風景等の分かる写真等があれば添付してください。
  - ・活動実績や写真等は、市ホームページ・広報紙等で紹介させていただくことがありますのでご了承ください。

